



2012-13

週報



パワー浜松ロータリークラブ事務局  
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2  
オークラアクティホテル浜松4307号室  
Tel/Fax 053-452-0800

Email info@power-hamamatsurc.jp  
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立/2002年10月22日 RI承認/2002年11月27日  
認証伝達式/2003年4月29日  
スポンサークラブ/浜松中RC



RIテーマ「奉仕を通じて平和を」会長/田中作次(八潮RC)  
2620地区のテーマ「クラブは自ら活性し、お互いのつながりを実感しながらロータリーを伸展させよう」  
ガバナー/高野孫左エ門(甲府RC)

パワー浜松RCのテーマ「固く結ぼう心の絆、分かち合おう総ての仲間と」会長/小澤邦比呂

第484 回例会4月23日(火)AM7:30~8:30

オークラアクティホテル浜松4F平安の間 ■司会:森俊彦・木村満義

■点鐘:小澤邦比呂 ■ロータリーソング:奉仕の理想

■ゲスト:NPO法人さんさんの会代表 菊池 信吾様

出席  
報告

85名中63名74.12%  
前々回修正出席率80%

## 会長挨拶

ロータリアンの皆さん、おはようございます。本日はNPO法人さんさんの会代表の菊池真吾様をお迎えました。ようこそお越しくださいました。後ほど卓話をよろしくお願ひします。

プロ野球も開幕し、ジャイアンツが勝ち進んでいるようです。「甲子園塾」というものがあります。甲子園塾は高校野球の指導者を育てる塾です。今は亡き箕島高校の尾藤監督、そして星稜高校の山下監督が塾長として指導をしています。野球の技術的なことだけでなく心の問題を指導しているという塾です。



ご承知のとおり野球の基本にはキャッチボールがあります。キャッチボールというものには奥深い意味があります。基本は1対1でボールを投げ合うのですが、相手のどこをめがけて球を投げるといえば胸に向かって投げます。相手が一番取りやすいところに投げてあげる、これがキャッチボールの基本です。これは相手に対して思いやりを持つという事です。とんでもないところに投げてボールが取れなかつたりしてはいけません。相手に対して思いやりのある送球をする。受け取る側はそれに対して感謝の心を持つ。いいところに投げてくれてありがとう。そして感謝の言葉として「ナイスボール!」という言葉を出します。思いやりと感謝が行きかうのがキャッチボールという事です。

私たちの日常生活でも、仕事の面、組織の面、夫婦の間でもキャッチボールがなされます。キャッチボールをしているだけけれど結果が出ないこともあります。それは思いやりと感謝が入っているかということだと思います。私たちは常日頃から何気なく会話をしています。しかし相手を思いやり、相手に感謝して言葉を発しているかと問うと反省することもあります。先日、娘と話をしていたら「お父さんはいつも一方通行の話が多い」とのこと。「そうかな? そんなことはないよ。」という「それが一方通行だよ」と言われました。大変反省させられる場面でした。

本当に人との関係を良くするには心のキャッチボールが必要だと思います。今年度も残り2か月となりました。中々皆さんとのキャッチボールができないまま過ぎてきたように思います。5・6月と幹事と仕上げなくてはならないことが多くあります。皆様のご協力をお願いいたします。

## 幹事報告

- ①浜松JC様よりなでしこジャパン監督の佐々木則夫氏の講演会の案内をいただきました。
- ②ロータリー友情交換プログラムにより仲秋夫妻がGW中にロサンゼルスへ訪問します。
- ③本日例会終了後、第10回理事会を開催します。
- ④次回例会は副幹事の担当でクラブ協議会を開催します。特別休会で2週間例会は休会ですのでご注意ください。



## スマイル報告

松本好司・諸星圭吾

4月21日、日曜日、次年度予算折衝がありました。副会長を始め、委員長、部会長の皆様ありがとうございました。

青山素久

浜松まつりの季節がやって来ました。今年は卸本町で、メンバーの長谷川隆はさんが初風を揚げます。先日、糸目付けも無事終わったようです。5月の青空に揚がる風・・・楽しみです。



原田道子

全国賃貸住宅新聞主催でセミナーが5月の連休明けの7日に静岡商工会議所で、8日は浜松商工会議所で開催されます。税制改正と相続対策の講師は私がやります。資産家(アパート、マンションオーナー)の方は是非ご参加ください!





2012-13

第484回例会  
4月23日(火)



POWER HAMAMATSU  
ROTARY CLUB  
JAPAN  
国際ロータリー第2620地区・静岡第7分區  
パワー浜松ロータリークラブ

パワー浜松ロータリークラブ事務局  
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2  
オークラアクティビティホテル浜松4307号室  
Tel/Fax 053-452-0800

Email info@power-hamamatsurc.jp  
http://www.power-hamamatsurc.jp  
創立/2002年10月22日 RI承認/2002年11月27日  
認証伝達式/2003年4月29日  
スポンサークラブ/浜松中RC



NPO法人さんさんの会 代表 菊池 真吾様 卓話

## 「震災被害の人たちに向けての 配食サービスを通して地域支援」



みなさん、おはようございます。昨日、大船渡から5時間かけて浜松にやって参りました。浜松には配食サービスに必要な技術指導をしてくださる支援者がおられるので、月に1回のペースで来ています。僕が活動を始めたのは3月12日、震災の翌日です。前職はシステムキッチンの会社に勤務していましたので、最初はボランティア活動から始めました。僕自身はボランティアや、人の為になにかをするといった事に全く興味を示さないタイプ人間なんです。この震災で僕が目にしたものはそれを許さないほどのものでした。その日は内陸の盛岡市に居たんですが、それでも電気・水道・ガスが止まりました。ライフラインが止まる恐怖をこの時、初めて味わいました。被災地で最初に足りないものは食糧です。震災直後、行政から支給される食料は1日おにぎり1個、それを家族3人で分けあって食べるという事が当たり前の光景でした。行政の活動には限界があります。例えば63人居る避難所におにぎりを60個支給すると、3個足りないから、行政は持ち帰るんです。しかも行政から支給される食料の大半は炭水化物。おにぎりやカンパンです。タンパク質やビタミンが絶対的に不足するんです。3個足りないおにぎりをどう補って配給するか、ビタミンやたんぱく質の不足をどうしていくのか、それこそが民間に求められるものなんです。

現在は人工透析を受けている方々へ食事の配給をしています。震災から日が経ち、食料の供給も良くなっていったんですがどうしても配給食を食べない人達がおられました。人工透析をされている方達です。この方達は食べられるものがないため、どんどんと症状を悪化されていきました。この人工透析のための特別食の作り方を教えていただいたのが、浜松の方だったんです。

それまでは弁当で配食をしていましたが、体調不良で配給日に食べることが出来ず、1日・2日遅れて食べる、その結果、お腹をこわすといったことが頻繁あったんです。真空パックにした事で、衛生面は良くなり、調理済みの為、どんな状況でも食べる事が出来るようになりました。少量の真空パックにしてあるので、少ない消費量で制限食の人でも食べられるんです。

震災直後から2カ月間くらいの間は地元の社長さん達が先頭に立って、ライフラインの道路を造ったり、食材を調理し配給されたりし、その活動が復興に大きな力となりました。今、一番問題なのは、高齢の男性です。おばさん達は積極的にコミュニティを作るのですが、お歳をとった男性は「面倒くさい」といって、外に出ようとされません。外に出て、人と関わっていただくために何かしていただく事を作りだしていかないとイケない。また、コミュニティの形成については、津波にあった地域の人と、そうでない人とは真っ二つになっただけがみ合うのが常で、報道されるようなコミュニティがそんなに簡単に出来るものではありません。

地域交流は大きなテーマです。現在、大船渡の高齢化率は65%にもなっています。限界集落です。町で若い人を見かけることはありません。このままでは町は衰退するばかりで、これも大きな問題です。

阪神淡路大震災では、仮設住宅を最後に撤去するまでに17年を要していますが、この震災では17年後はどうなっているのでしょうか？震災直後に大船渡にはボランティア活動組織やNPO法人などが集まって「アクションネットワーク」が結成され、月に2回は会合を開き、情報を交換しながら、互いに補完する動をしています。アクションネットワークの会合は今月で50回を数えます。しかし僕たちの組織は小さく、発信力もあまりありません。ロータリークラブは大勢の方が活躍されている全国組織、皆様のお力添えを期待しています。

## 【ハッピーバースデー】

仲秋 篤志 (生・昭和52年4月7日)

保険の窓口グループで作られる代理店会のメンバーが約4,000人。

保険会社から受け取る手数料ランキングが毎月発表されます。

ロータリーに入り、皆様の指導と、ご支援をいただきましたおかげで、昨年の10月、全国1位になりました。

次は年間ランキングでも1位を狙って頑張ります。

